

共助項目に対する提言案・質問一覧表

1. 共助（社会福祉協議会）に対する総体的な提言

3項目

内訳：渡邊委員3項目

通番	対象事業名	内容	委員名
1	地域交流の推進	「地域共生社会」の実現に向け「重層的支援体制整備事業」が始まろうとしています。地域資源の活用や多世代の交流の場、活躍の場、通いの場等（ミニデイ、ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン、ボランティア育成事業）の参加を促し、協力体制が取れると地域の活性化に繋がると思います。	渡邊委員
2	生活支援コーディネーターのコーディネート業務の強化	生活支援コーディネーターの資質向上、研修の充実を図ると共に、地域の核となる人材育成へ一歩進めていただきたい。	渡邊委員
3	相談支援の推進	生活困窮者、ひきこもり、就労、ヤングケアラー等若者を取り巻く環境が大きく変化しています。関係機関との連携も含め、市社協、地区社協も取り組み、支援体制の確立をお願いしたい。	渡邊委員

2. 個別事業に対する提言

1項目

内訳：府野委員1項目

通番	対象事業名	内容	委員名
1	ふれあい・いきいきサロン事業	このところ高齢者の方々が歩行が困難になり、家にひきこもりがちな方が増えてきています。これからも元気で楽しく過ごしていただくためにも、近くの町会・自治会館を利用し、子どもから高齢者まで幅広く交流の場として、ふれあい・いきいきサロンが重要になってくるのではと思います。 地域の方々とふれあい、顔の見える関係を築いていくことで、高齢者の方々が何かあった時、地域で助け合える関係を作り、支援に繋がっていかれたらと思います。 そのためにも地域が一体となり協力・連携が出来たらと思います。	府野委員

3. 共助に対する総体的な質問

1項目

内訳：渡邊委員1項目

通番	対象事業名	内容	市社協からの回答	委員名
1	「ボランティア」の確保・充実	ボランティアの確保、拡大は大切かと思えます。 地域の活動はボランティアで成り立っています。シニアボランティアの活用も必要ですが、若者をどうボランティア活動に関心を持たせるかも重要な課題だと思います。	年代に関わらず、特に若者がボランティア活動に参加することは大きな課題です。福祉教育や体験学習、ボランティア体験などをすすめていくほか、ICTを活用したボランティアのマッチングなど、様々な方法によりボランティアを確保していきたいと考えています。	渡邊委員

4. 個別事業に関する質問

1項目

内訳：加瀬委員1項目

通番	対象事業名	内容	市社協からの回答	委員名
1	地区社会福祉協議会事務局員研修	高齢者社会が進む中、地区社協事務局には多種多様な相談が寄せられています。地区社協開設時には想像もつかない状況です。 事務局員の努力も必要ですが、他の仕事量も増大する中にてコロナの相談にも関わっています。このような時こそ実情に即した地区社協事務局員研修を今後も精力的に続けていただきたいと思えます。 コロナ禍で、研修会場や参加者制限等の課題も考えられますが、是非ともご検討をお願いします。	事務局員研修については、市内5ブロックでの研修のほか、全体での研修を年2回行っていますが、今後も各地区が抱える課題が少しでも解決につながるような研修を検討してまいります。	加瀬委員